

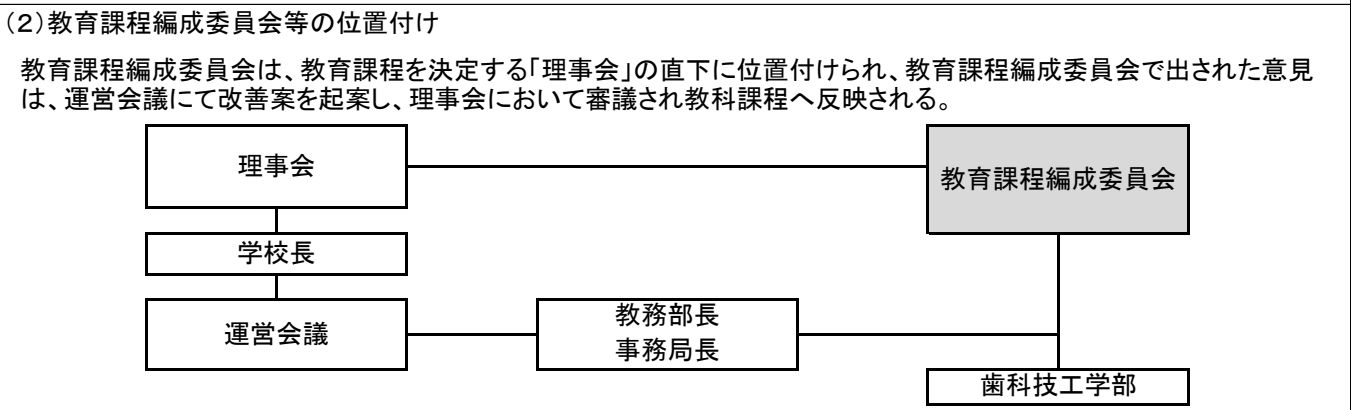
【職業実践専門課程認定後の公表様式】

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																						
新東京歯科技工士学校		昭和56年3月30日		福原 達郎		〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																						
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																						
学校法人 東京滋慶学園		昭和61年2月1日		中村 道雄		〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2211																						
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																					
医療	歯科技工士 専門課程		歯科技工士科Ⅰ部			平成22年文部科学省 告示第五十三号																						
学科の目的		知識・技術・社会人基礎力を兼ね備え、歯科医療チームの一員として活躍できる歯科技工士となる。																										
認定年月日		平成26年 3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験	実技																				
2	昼間	86単位	41単位		11単位	34単位	0単位	0単位																				
単位時間																												
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数		総教員数																				
180人		126人		22人	7人	22人		29人																				
学期制度		■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																						
長期休み		■学年始め:4月1日 ■夏季:8月の3週間 ■冬季:12月下旬～翌年1月の2週間 ■学 年 末:3月の3週間			卒業・進級 条件	■1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 ■卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者																						
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。			課外活動	■課外活動の種類 ・歯科技工士会と連携した研修会の開催 ・各種講習会、デモンショ、学会の参加 ■サークル活動: 有																						
就職等の 状況※2		■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 歯科技工所、歯科診療所、歯科機材メーカー ■就職指導内容 学内合同就職説明会や人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 ■卒業生数 : 86 人 ■就職希望者数 : 64 人 ■就職者数 : 64 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 74 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・その他(帰国、健康不安、家庭の事情) 4名 (令和 4 年度卒業生に関する 令和5年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) <table><tr><td>資格・検定名</td><td>種</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>歯科技工士免許</td><td>②</td><td>85人</td><td>61人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科技工士免許	②	85人	61人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																									
歯科技工士免許	②	85人	61人																									
中途退学 の現状		■中途退学者 7 名 ■中退率 4.5 % 令和4年4月1日時点において、在学者156名(令和3年3月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者149名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 健康上の理由、家庭の事情、単位未履修、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 学内カウンセリング施設によるサポート、一人暮らしセミナーの実施、学費納付制度、就職希望者の就職サポート、留学生支援センターのサポート等																										
経済的支援 制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																										
第三者による 学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL		URL: https://www.dt.ntdent.ac.jp/departments/dept1/																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
教育課程の編成において、業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、必要となる最新の知識・技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善及び改訂を定期的実施することを目的とする。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
山下 茂子	一般社団法人 日本歯科技工学会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
大学 泉介	一般社団法人 千葉県歯科技工士会	2022年4月1日～2024年3月31日	①②
木村 正	株式会社 中央歯科補綴研究所	2022年4月1日～2024年3月31日	③
伊藤 世由	アライン・テクノロジー・ジャパン・トリート合同会社	2022年4月1日～2024年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 理事	2022年4月1日～2024年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科技工士学校 学校長	2022年4月1日～2024年3月31日	
関口 崇之	学校法人 東京滋慶学園 副運営本部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科技工士学校 事務局長	2022年4月1日～2024年3月31日	
植田 慎司	新東京歯科技工士学校 事務部長	2022年4月1日～2024年3月31日	
富野 浩子	新東京歯科技工士学校 学科長	2022年4月1日～2024年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 6月、11月

(開催日時)

2023年	2022年
第1回 2023年5月25日 18:00～20:00	第1回 2022年6月2日 18:00～20:00
第2回 2023年10月31日 18:00～20:00	第2回 2022年10月31日 18:00～20:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①「キャリアデザインⅠ」の授業内容について、業界と連携し歯科医療における歯科技工士の役目や将来像が明確になるような内容に変更した。

②希望者選択制のゼミ教育において、歯科医療業界のスペシャリストを講師として招き、業界の動向に合わせたより実践的な内容へとカリキュラムを見直し変更した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨床実習や歯科技工士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

インターンシップⅠ、Ⅱでは、企業見学および就業体験を実施する。就業体験では一人で企業に赴き、一日の仕事の流れを体験しながら社会人としてのマナーや作業効率を学ぶ。また、臨床的実習模型等を用いた実習を現場の担当者の指導のもと実施する。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

情報技術基礎ではIT専門の企業と連携し、社会人として必要な情報リテラシーについて、さまざまな事例をもとに理解する。また、Word、Excel、PowerPointの基本操作を習得する。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

キャリアデザインⅠでは歯科技工士、歯科衛生士両方のライセンスを取得している講師が運営する企業と連携し、歯科業界におけるAI化の進む診療や患者のニーズ、日々の診療や唾液の大切さについて学ぶ。受講後にレポート提出し、その内容によって評価を行っている。

有床義歯技工学基礎Ⅰでは、最先端の技術で歯科治療を行っている歯科医院と連携し、義歯製作に必要な基礎を学ぶ。各項目について評価表を提出して頂き、最終評価は本校教員が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップⅠ	歯科技工士が働く現場(歯科技工所や歯科診療所)の見学や体験を通して、臨床現場の仕事の流れを理解し、卒業後の進路決定の参考にする。また、訪問先で接する人々に対するマナーを知ることを通して社会性を身につける。	(株)ワールドラボ、和田精密歯研(株)、(株)中央歯科補綴研究、(株)オーリアラ、(株)ZOO LABO、(株)ジーシー等
インターンシップⅡ		
情報技術基礎	社会人として必要な情報リテラシーを理解する。Word、Excel、PowerPointの基本操作ができることを目標とする。	(株)ブレインスタッフコンサルタンツ
キャリアデザインⅠ	様々な臨床現場や歯科技工士の働き方や業界の動向について授業を通じて将来像を明確にすることを目標とする。	啓歯産業
有床義歯技工学基礎Ⅰ	義歯の構成要素、技工操作の手順を学び、実習授業において活用できることを目標とする。	ひかり歯科クリニック

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。
学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通した研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

【日本スポーツ歯科医学会第32回総会・学術大会】

対象:専任教員

主催:口腔保健協会

内容:スポーツ歯学講演、教育講演、ポスター発表など

期間:2022年12月3日～4日

スポーツゼミおよびスポーツ歯学担当教員の知見を深め、教育に活かす。

②指導力の修得・向上のための研修等

【国家試験対策研修会】

対象:専任教員

主催:滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容:医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間:2022年7月4日～10月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

【DX推進研修】

対象:DX委員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:DXの概念ポイントを理解する。

期間:2022年6月14日～12月6日

DXの考え方フレームについて検討しDXをすることで業務効率に活かす。

【教職員カウンセリング研修】

対象:専任教員

主催:滋慶科学教育研究所

内容:カウンセリングマインドを身に付ける。

期間:2022年9月26日～10月21日

学生や保護者に対応できるようにスキル向上し教育に活かす。

【マネジメント研修】

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

内容:マネジメント教育について

期間:2022年10月18日

データを活用してマネジメント力を向上する。

【FDミクロレベル〈フォローアップ〉研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:授業リフレクションの進め方 コーチングスキルを用いた事例検討

期間:2022年11月9日、11月15日、11月16日

授業の振り返りを行い、授業改善の工夫に活かす。またコーチングの基礎を学びクラス運営に活かす。

【JESCコンピュータ研修】

対象:専任教員

主催:株式会社ブレインスタッフコンサルタンツ(BSC)

内容:「なぜ今AIを学ぶのか」「すべての社会人が学ぶべきAIリテラシー」

期間:2022年11月14日・11月30日、11月24日・12月6日

AIおよびリテラシーについて理解し、教育や授業運営に活かす。

【キャリア教育カウンセラー研修】

対象:局長、次長、教育責任者

主催:滋慶教育科学研究所

内容:社会環境の変化に応じたキャリア教育に対する考え方の共有

期間:2022年11月18日

キャリア教育のアクションプランの策定および実施方法について理解し、教育に活かす。

【キャリア教育アドバンス研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:合理的配慮について

期間:2023年1月12日

合理的配慮を理解し、クラス運営に活かす。

【キャリア教育インストラクター研修】

対象:学科長以上

主催:滋慶教育科学研究所

内容:「成功の原則」について

期間:2023年1月20日

【EAST DX推進 & キャリアSharepoint研修】

対象:DX委員

主催:IT・DX 推進センター

内容:「DX 化に対応できるマインドを身に着け価値を生み出せるようになる。」

期間:2023年6月9日

(3) 研修等の計画**① 専攻分野における実務に関する研修等****【専任教員講習会Ⅰ】**

対象:専任教員

主催:全国歯科技工士教育協議会

内容:歯科技工学のカリキュラムプランニング、評価法

期間:2022年8月4日～8月5日

〔実技研修会Ⅱ〕

対象:専任教員

主催:全国歯科技工士教育協議会

内容:最新のデジタル器材の紹介など

期間:2022年8月2日

デジタルゼミおよびデジタル歯科技工実習担当教員の技術向上を目指し教育に活かす。

② 指導力の修得・向上のための研修等**【合理的配慮研修】**

対象:学内職員

主催:JTSC滋慶トータルサポートセンター

内容:専門学校に義務化された合理的配慮の概論と実際について

期間:2023年2月21日

合理的配慮について理解しクラス運営に活かす。

【留学生の価値研修】

対象:学内職員

主催:JESC日本語教育委員会

内容:外国人とのコミュニケーション、授業のヒントなど

期間:2023年6月23日

留学生とのコミュニケーション方法や留学生が分かる授業の向上をめざし教育に活かす。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

国家試験合格率向上のための、教育システムの改善を図る。学生が学校に通いたい、学びたいと感じられるような魅力のある将来像を産学連携を通じて未来をみせていく。

- ① 初年次教育から国家試験に慣れていくための仕掛けづくりを行うことにより知識のベースを習得する。
- ② 留学生教育において、歯科専門用語を習得できるサポート授業のシステム化を図っていく。
- ③ インターンシップ実施日数の見直しを図り、職種意義を現場体験を通じて学ぶことにより学習意欲の向上を促進する。
- ④ トップ層教育のカリキュラムの導入を実施する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2023年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
中村 八大	株式会社 テクニカルセンター	2022年4月1日～2024年3月31日	卒業生
佐々木智里	歯科技工士科 I 部 在校生の保護者	2023年4月1日～2024年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2022年4月1日～2024年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2022年4月1日～2024年3月31日	地域等委員
南部 哲男	株式会社 ナンプ精工	2022年4月1日～2024年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

<https://www.dt.ntdent.ac.jp/information/>

令和5年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<https://www.dt.ntdent.ac.jp/information/>

授業科目等の概要

(歯科技工士専門課程 歯科技工士学科Ⅰ部) 2023年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報技術基礎 Fundamentals of Information Technology	インターネットの使い方、使用する上でのモラルをまとめ、Word、Excel、PowerPointを使いレポート作成ができることを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○			○	○
○			外国語 English for Dental Technology	あいさつ、海外訪問時に病気になった時、海外の展示会などで用いる代表的な表現を用いて、基本的な情報交換ができることを目標とする。	1年次後期	15	1	○			○			○	
○			造形美術概論 Compendium of Art of Dental Technology	形態の見方や表現方法の基礎を学ぶ。演習を通じて歯科技工に必要な立体的形態の表現技術を養うことを目標とする。	1年次前期	15	1		○		○			○	
○			キャリアデザインⅠ Career DesignⅠ	自己理解および他者理解を学ぶ。特に異文化とコミュニケーション技術を用いて自己信頼の構築を目標とする。	1年次前期	15	1	○			○		○	○	○
○			キャリアデザインⅡ Career DesignⅡ	キャリアデザインⅠでの学びを自らのキャリア形成に活用する。業界動向の諸事例を元に、将来像を明確にすることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○		○	○	
○			歯科技工学概論 Compendium of Dental Technology Science	歯科医療に関する基礎知識、歯科技工の重要性及び歯科技工物について学び、その概要をまとめることを目標とする。	1年次前期	15	1	○			○		○	○	
○			歯科技工士関係法規 Dental Technologist Applicable Laws and Regulations	歯科技工士として業務を行うために必要な「歯科技工士法」を中心に、歯科医療に関する法律への理解と遵守を目標とする。	2年次前期	15	1	○			○		○		
○			歯科臨床基礎 Fundamentals of Clinical Dentistry	歯科保存治療に不可欠な、仮歯及び個歯トレーの製作工程とその要点を、製作を通じて理解することを目標とする。	2年次後期	15	1		○		○		○	○	
○			歯の解剖学基礎Ⅰ Dental Anatomy-BasisⅠ	歯や口腔の概説、特に永久歯の形態的特徴を学び、実習授業においてその知識を活用できることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○		○		
○			歯の解剖学応用 Dental Anatomy-Advanced	筋の働きを中心とした口腔機能や歯の発生機構、硬組織及び歯周組織について、構造と経年変化を明示できることを目標とする。	2年次前期	30	2	○			○		○		
○			歯型彫刻基礎 Dental Carving	歯型彫刻に必要な器具の正しい使い方を学び、繰り返し実践することで、設定した課題を制限時間内に完成できることを目標とする。	1年次前期	30	1			○	○		○	○	
○			顎口腔機能学応用 Stomatognathic Function Science-Advanced	様々な咬合位において咬合関係を理解し、実習授業にその知識を活用できることを目標とする。	2年次前期	15	1	○			○			○	
○			顎口腔機能学実践 Training of Stomatognathic Function Science	顎口腔機能の基礎的知識を咬合器装着と補綴物の製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次前期	15	1		○		○		○	○	

○			歯科理工学基礎Ⅰ Dental Materials Science- BasicⅠ	石膏、埋没材、歯科用金属について、種類とそれらの性質の違いを認め、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯科理工学基礎Ⅱ Dental Materials Science- BasicⅡ	ワックスや床用レジンの性質について、種類とそれらの性質の違いを認め、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	1年次後期	30	2	○			○			○	
○			歯科理工学応用Ⅰ Dental Materials Science- AdvancedⅠ	セラミックや複合材料について、種類とそれらの性質の違いを認め、理論に基づいた取り扱いができることを目標とする。	2年次前期	30	2	○			○			○	
○			歯科理工学応用Ⅱ Dental Materials Science- AdvancedⅡ	高分子、セラミックス及び複合材料の種類と性質の違いを認め、理論の実践ができることを目標にする。	2年次後期	15	1		○		○			○	
○			有床義歯技工学基礎Ⅰ Denture Techniques -BasicⅠ	ヒトの生体に関する基礎知識及び、部分床義歯の構成要素、技工操作の手順を学ぶ。実習授業において活用できることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○			○	○
○			有床義歯技工学基礎Ⅱ Denture Techniques -BasicⅡ	金属床義歯及び全部床義歯の特性、印象方法、模型製作から完成までの手順を学ぶ。実習授業において活用できることを目標とする。	1年次後期	30	2	○			○			○	
○			部分床義歯基礎実習Ⅰ Partial denture Techniques Ⅰ	義歯に関する基本的事項について、学生自らが装着できる「口蓋板」の製作を通して確認できることを目標とする。	1年次前期	30	1				○	○		○	○
○			部分床義歯基礎実習Ⅱ Partial denture Techniques Ⅱ	部分床義歯構成要素の一つである支台装置の製作を通して、義歯の基本設計を習得することを目指す。	1年次前期	30	1				○	○		○	○
○			部分床義歯基礎実習Ⅲ Partial denture Techniques Ⅲ	部分床義歯製作における完成までの手順と理論及び基礎技術について、製作を通じて確認できることを目標とする。	1年次前期	30	1				○	○		○	○
○			有床義歯基礎実習 Denture Techniques	課題製作を通じて部分床義歯製作の各工程を確認し、基礎力を習得することを目指す。	1年次後期	30	1				○	○		○	○
○			全部床義歯基礎実習Ⅰ Basic Training of Complete denture TechniquesⅠ	義歯製作に必要な個人トレー、作業模型製作、咬合器装着に関する知識について、製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次前期	30	1				○	○		○	○
○			全部床義歯基礎実習Ⅱ Basic Training of Complete denture TechniquesⅡ	人工歯排列、歯肉形成、口蓋部の形態等、義歯製作に必要な知識を、製作を通じて確認できることを目標とする。	2年次前期	30	1				○	○		○	○
○			全部床義歯基礎実習Ⅲ Basic Training of Complete denture TechniquesⅢ	蟬義歯の埋没、重合、咬合調整、研磨から完成までの製作に必要な知識を、実践を通じて確認できることを目標とする。	2年次前期	30	1				○	○		○	○
○			有床義歯総合実習 Basic Training of Denture Techniques	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を、規定時間内に製作できる技術の習得を目標とする。	2年次後期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復技工学基礎Ⅰ Restorative Dentistry-Basic Ⅰ	歯科保存治療に用いるインレーや全部金属冠等の補綴物について、要件や製作順序を明示できることを目標とする。	1年次前期	30	2	○			○			○	

○			歯冠修復技工学基礎Ⅱ Restorative Dentistry-Basic Ⅱ	歯科保存治療用いるブリッジや前装冠等の補綴物及び、支台築造について、要件や製作順序を明示できることを目標とする。	1年次 後期	30	2	○			○		○		
○			歯冠修復技工学応用 Restorative Dentistry- Advanced	製作難易度の高い各種補綴物について、その要件や製作順序を理解することを目標とする。	2年次 前期	15	1	○			○				○
○			歯冠修復基礎実習Ⅰ Basic Training of Restorative DentistryⅠ	模型の正しい取扱方法を理解し、インレーやクラウンについて、模型製作から完成できることを目標とする。	1年次 前期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復基礎実習Ⅱ Basic Training of Restorative DentistryⅡ	歯の形態と噛む機能の回復を考慮した蟬形採得の製作を目指し、完成できることを目標とする。	1年次 前期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復基礎実習Ⅲ Basic Training of Restorative DentistryⅢ	前装冠のフレーム形態の特徴を認め、ワックスアップからメタル調整まで再現できることを目標とする。	1年次 前期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復基礎実習Ⅳ Basic Training of Restorative DentistryⅣ	ブリッジ(固定式義歯)の製作を通じて基底面の形態を学び、補綴物製作における応用的知識の修得を目標とする。	1年次 後期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復応用実習Ⅰ Advanced Training of Restorative DentistryⅠ	臨床模型を用いたクラウンの製作に関する理論と技術の習得を目標とする。	2年次 前期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復応用実習Ⅱ Advanced Training of Restorative DentistryⅡ	臨床模型を用いたクラウンや前装冠の製作に関する理論と技術の習得を目標とする。	2年次 前期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復総合実習Ⅰ Comprehensive Training of restorative DentistryⅠ	蟬型採得の反復練習を通じて形態の再現度を高めることを目標とする。	2年次 後期	30	1				○	○		○	○
○			歯冠修復総合実習Ⅱ Comprehensive Training of restorative DentistryⅡ	蟬型採得の反復練習を通じて、歯冠形態回復のスピードと正確さを身に付けることを目標とする。	2年次 後期	30	1				○	○		○	○
○			矯正歯科技工学各論 Particular Theories of Orthodontics	各種矯正装置の役割や分類方法を学び、製作方法に関連付けられることを目標とする。	2年次 前期	15	1	○			○				○
○			矯正歯科技工学実習 Practical Training of Orthodontics	矯正装置の製作方法について、実習を通して再現できることを目標とする。	1年次 後期	30	1				○	○			○
○			小児歯科技工学各論 Particular Theories of Pedodontics	小児歯科で用いられる歯冠修復物や各種咬合誘導装置について、その製作方法と理論を関連付けられることを目標とする。	2年次 前期	15	1	○			○				○
○			小児歯科技工学実習 Practical Training of Pedodontics	小児歯科技工に必要な基本的な歯科技工技術を学び、製作を通して再現できることを目標とする。	2年次 前期	30	1				○	○		○	○
○			技工基本実習Ⅰ Basic Training of Dental technologyⅠ	ワックスアップの製作について、反復練習を通じて、既習技能を確認することができる。また、基本操作を規定時間内に実践し、完成できることを目標とする。	1年次 前期	30	1				○	○		○	○

○			技工基本実習Ⅱ Basic Training of Dental technologyⅡ	人工歯排列について、既習技能を確認することが できる。また、基本操作を規定時間内に実践し、完 成できることを目標とする。	1年次 後期	30	1			○	○		○	○	
○			歯型彫刻応用 Advanced Training of Dental Carving	歯のデッサンや歯型彫刻の反復練習を通して、歯 の特徴について知識の確認を行う。指定した歯種 の形態的特徴を表現できることを目標とする。	1年次 後期	60	2			○	○		○	○	
○			歯型彫刻総合Ⅰ Comprehensive Training of Dental CarvingⅠ	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形 態的特徴を見本を用いて規定時間内に表現でき ることを目標とする。	2年次 前期	30	1			○	○		○	○	
○			歯型彫刻総合Ⅱ Comprehensive Training of Dental CarvingⅡ	デッサンと歯型彫刻の技術向上を目指す。歯の形 態的特徴を見本を用いずに規定時間内に表現で きることを目標とする。	2年次 後期	60	2			○	○		○	○	
○			歯科技工実習総合Ⅰ Training of Dental TechnologyⅠ	チーム歯科医療の一員としての役割を、歯科衛生 士科や歯科技工士科2年生との実習を通じて確認 できることを目標とする。	1年次 前期	30	1			○	○		○	○	
○			歯科技工実習総合Ⅱ Training of Dental TechnologyⅡ	習得した知識や技能の確認を行う。課題製作を通 じて学生自らも今後の課題を設定し、技術向上に 活かせることを目標とする。	1年次 後期	30	1			○	○		○	○	
○			歯科技工実習総合Ⅲ Training of Dental TechnologyⅢ	課題製作や合同実習を通じて、習得した知識や技 能の確認を行う。今後の課題を設定し、技術向上 に活用することを目標とする。	2年次 前期	30	1			○	○		○	○	
○			歯科技工実習総合Ⅳ Training of Dental TechnologyⅣ	課題製作を通じて、「スピード」、「正確さ」を身に つけ、臨床現場に対応した基本操作の再確認をし、 確実な知識と技能を身に付けることを目標とする。	2年次 後期	30	1			○	○		○	○	
○			歯の解剖学基礎Ⅱ Dental Anatomy-BasisⅡ	口腔機能、特に頭蓋骨及び頭部を中心とした筋肉 の構造と機能について明示できることを目標とす る。	1年次 後期	15	1	○			○		○	○	
○			顎口腔機能学基礎 Stomatognathic Function Science-Basic	下顎運動と咬合の概要を学び、歯科技工物の製 作に必要な基礎知識を記述できることを目標とす る。	1年次 後期	15	1	○			○			○	
○			矯正歯科技工学総論 Principles of Orthodontics	矯正歯科治療の概要及び技工用器具と器械、材 料や技工の手技について明示できることを目標と する。	1年次 後期	15	1	○			○			○	
○			小児歯科技工学総論 Principles of Pedodontics	小児歯科で用いる装置の製作に必要な小児期の 成長発育の特徴を学ぶ。特に歯列の成長発育に ついて明示できることを目標とする。	1年次 後期	15	1	○			○			○	
○			有床義歯技工学応用 Denture Techniques -Advanced	既習事項である全部床義歯及び部分床義歯につ いて、得られた知識を構造化し、説明できること を目標とする。	2年次 前期	15	1	○			○		○		
○			総合歯科技工学Ⅰ Dental Technology - ComprehensiveⅠ	歯科技工業務を見据えて専門科目の枠を超え、今 までの学びを総合的に復習し理解することを目標 とする。	2年次 前期	30	2	○			○		○	○	

○			総合歯科技工学Ⅱ Dental Technology – ComprehensiveⅡ	歯科技工業務を見据えて専門科目の枠を超え、今までの学びを総合的に復習し正確に理解することを目標とする。	2年次後期	90	6	○		○		○	○	
○			総合歯科技工実習 Training of Dental Technology –Comprehensive	規定課題を時間内に製作し、技術向上を目標とする。	2年次後期	30	1			○	○		○	○
○			スポーツ歯学入門 Introduction to Sports Dentistry	スポーツ歯学の概要及びスポーツマウスガードの役割を学ぶ。学生自身の口腔内模型を用いて基本的なマウスガードが製作できることを目標とする。	1年次後期	15	1		○		○		○	○
○			デジタル歯科技工入門 Introduction to Digital Dental Technology	PCの基本操作を学び、歯科専用ソフトウェアを用いて「盛る」「削る」操作し、歯の形を作ることを目標とする。	1年次後期	15	1		○		○		○	○
○			総合歯科技工入門 Introduction to Dental Technology	陶材焼付金属冠及び、金属床フレームワークのワックスアップについて学ぶ。製作工程の流れとその要点を、製作を通じて理解することを目標とする。	1年次後期	30	2		○		○		○	○
○			課題研究実習Ⅰ Research and Professional PracticeⅠ	修得した知識や技術を振り返り、技術向上のために必要な技工作品と製作計画を検討立案することができる。また、実際に製作を開始することを目標とする。	2年次前期	30	1			○	○		○	○
○			課題研究実習Ⅱ Research and Professional PracticeⅡ	技術向上のために設定した技工作品と製作計画を実践する。計画通りに製作を進めることを目標とする。	2年次後期	30	1			○	○		○	○
○			課題研究実習Ⅲ Research and Professional PracticeⅢ	技工作品の完成を踏まえ、設定した課題と目指した技術向上について、製作過程とその結果について検証することができることを目標とする。	2年次後期	30	1			○	○		○	○
○			インターンシップⅠ InternshipⅠ	代表的な歯科技工士就業施設の見学を通して歯科医療専門職として社会で働くために必要な課題を設定できることを目標とする。	1年次前期	15	1		○			○	○	○
○			インターンシップⅡ InternshipⅡ	歯科技工業務の見学及び就業体験を通じて、業界で活躍するための課題を設定し、進路決定の準備を具体的に進めることができる。	2年次前期	30	2		○			○	○	○
		○	国際教育 International education	国内外における歯科医療や訪問国における歯科業界の動向について、現地での研修を通じて学び、記述することができることを目標とする。	1年次後期	15	1		○		○		○	○
合計				68科目	1,815時間(87単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。 全科目履修で卒業となる。		1 学年の学期区分	前期・後期
		1 学期の授業期間	15週